

# 技術委員会報告

～第74回国民体育大会中国ブロック大会～

- 1 日時 令和元年8月10日（土）～8月12日（月）
- 2 会場 成年：島根県松江市・松江市陸上競技場  
女子：島根県出雲市・浜山陸上競技場、浜山補助競技場  
少年：島根県出雲市・浜山球技場、出雲健康公園
- 3 結果 8月11日（日）  
成年準決勝 山口県●0（0-1、0-1）2○広島県 →3位決定戦へ  
女子準決勝 山口県○2（0-0、2-1）1●広島県 →代表決定戦へ  
少年第1戦 山口県○3（1-0、2-1）1●鳥取県  
8月12日（月）  
成年3位決定戦 山口県●0（0-1、0-2）3○島根県 【第4位】  
女子代表決定戦 山口県●2（0-1、2-2）3○岡山県 【第2位】  
少年第2戦  
山口県○0（0-0、0-0、延長0-0、PK4-3）●0広島県  
【第1位】

【以上の結果、少年の部が本大会出場決定】

## 3 技術委員会より

《成年》…第4位

昨年に続く本大会出場とはならず、悔しい結果となった。チームは今回も、社会人中心の月1回の落とし込みトレーニングで、選手間の連携を図りながら、スタッフが県リーグや中国リーグなどの視察を重ねて選手を決定した。育成年代を山口県ですごした選手がほとんどで、トレーニングなどを通じ、選手間、選手とスタッフとの意思疎通

もよく、一丸となって予選突破に向けて取り組む姿は、正に「Team Yamaguchi」を体現していたと感じた。

2試合とも攻守にわたり激しく戦ったが、決定力に若干の差があり、両試合とも苦い敗戦となった。だが、県内の大学生や社会人が、力をつければ県代表チームに入り、代表選手として戦うことができるという素地は作られたので、今後は選手選考方法を含め、社会人リーグや大学と連携を図りながら、更に充実を図りたい。

《女子》…第2位

初戦は昨年度と同じ広島県との対戦となった。昨年は本県チームがボールを支配しながらも相手チームのカウンター攻撃に遭い、敗れた相手ということもあり、今年は相手の決定力ある選手に注



意を払いながら慎重に試合を進め、昨年の借りを返す勝利につなげることができた。

代表決定戦の岡山県との戦いでは、後半逆転することができたが、直後の30m超のFKを直接決められて同点、そしてアディショナルタイムに再逆転されるという劇的な敗戦となった。リスクマネジメントやリスタートのマネジメントに課題を残すこととなったが、中国地域では「勝って当たり前」の岡山県を相手に、ここまで戦うことができたことは、大きな自信となることができたであろう。大変悔しい結果となったが、中国地域の女子の序列が変わるのでは…と、大いに期待をもたせる貴重な「敗戦」であったと捉えたい。

#### 《少年》

ほぼレノファ山口U18と高川学園高校の選手で構成されたチーム(1名は山口高校…レノファ山口U15出身)は、非常にスキルフルで、2試合戦ったが、共に技術面では相手チームに一歩もひけをとらない内容であった。

第1戦の鳥取県戦に勝利の後、他会場の結果次第では、代表権を失うこともある、ということもあり、非常にゲームマネジメントの難しい戦いであった広島県との第2戦も、選手は冷静に個人として、チームとしてやるべきことを確実に果たした。延長戦の後、PK戦ではあったが、勝利し、久しぶり(大分国体の予選以来)の中国地域1位での出場となった。



特に、第2戦の広島県との試合では、意図的にリトリート(退いて守る)していながらも、放り込まれるボールをDFが確実にMFにつなぎ、チャンスに結びつけようとする、ヘディングをパスにする、などの技術が高いチームであった。また、相手のプレッシャーにも、個々の選手が冷静に対処することができるのも大きな強みであった。本大会での活躍を大いに期待させる内容であった。

#### 《総括》

年を重ねる毎に絆を強くしていると感じる成年、遠い存在にあと一歩まで追いつくことを実感した女子、そして4年連続の本大会出場となり、成果を出し始めた少年…本県サッカーが、育成から着実に実を結び始めています。これもひとえに、選手のそばで常に声をかけ、力をつけさせていただいている各チームの指導者の皆様のおかげだと考えています。本当にありがとうございます。

ですが、選手の成果を大きくさせるためには、

#### 『更なる指導者の質の向上』

が、本県の大きな課題と考えております。現状に満足せずに、指導者の質を上げ、そして選手の質を上げるための努力をしていきたいと考えていますので、今後とも本県サッカーの発展のためにご協力をお願いいたします。

最後に本大会に向けて1年前から準備していただいた各代表チームの監督やコーチングスタッフ、健康面をサポートしていただいた医科学委員会、そして山口県を代表して戦った選手の皆様に感謝いたします。本当にありがとうございました。

文責: 技術委員長(県代表強化部会長)